

山口大学図書館報

Yamaguchi University
Library BulletinLIBRARY
NEWS

ISSN 0388-5569

Oct 2015
No. 87

目次

学術基盤資料の現状と課題…………… 1	平成 26 年度図書館各種講習会…………… 7
平成 26 年度図書館トピックス…………… 3	平成 26 年度図書館業務統計…………… 8
平成 26 年度図書館オリエンテーション・ ガイダンス…………… 6	平成 26 年度本学関係教員著作寄贈図書 …… 10
	平成 26 年度会議・研修・人事等…………… 11

学術基盤資料の現状と課題

山口大学図書館長 山内 直樹

学生の皆さん、教職員の皆さん、日頃から図書館をご利用いただきありがとうございます。今回は図書館が直面している課題の中で特に大きな問題となっています電子ジャーナル・冊子体・データベースを含む学術基盤資料の整備・維持について、その現状と問題点を述べさせていただきます。

1. 全学的学術基盤資料の選定

「明日の山口大学ビジョン 2015」では、研究基盤の充実として“文系から理系までの幅広い分野における学術図書や情報ネットワークなど、学術情報基盤の整備を計画的に推進します”と謳われており、今後も学術基盤資料の整備を総合大学という立場から計画的に考えていくことになりました。

本学では平成 25 年度に全学共通として揃えるべき学術基盤資料を選定する目的で図書館専

門委員会において「学術基盤資料整備に関する基本方針」及び「学術基盤資料整備基準」を決定し、26 年度にはこの基準に基づき全学共通の学術基盤資料を選定しました（表 1）。そして、今年度も同様の手続きで各部局の意見を伺った上で図書館専門委員会にて選定しましたが、選ばれた基盤資料は昨年同様となりました。毎年の

【表 1】平成 28（2016）年度全学共通学術基盤資料
（平成 27 年度選定）

◆電子ジャーナル（パッケージ） ACS, APS, Science Direct, SpringerLINK, Wiley Online Library, JSTOR(Arts & Sciences I・II, Language & Literature)
◆電子ジャーナル（個別） Nature, Science, PNAS
◆データベース CiNii, MathSciNet, Scopus, D1-Law.com, JDreamⅢ, SciFinder, 日経 NEEDS Financial Quest

選定見直しの中で、部局の意向を踏まえ入れ替えも可能となるようにしておりますが、やはり最初に選定基準に基づき選ばれた 26 年度の学術基盤資料は各部局にとって重要と思われるものが選定されており、全学共通の学術基盤資料として相応しい内容と考えております。

2. 学術基盤資料を取り巻く現状

学術基盤資料を維持する上での一番大きな問題は、資料自体の価格上昇です。これは本学だけでなく全国の大学図書館が抱えている問題であり、今後学術基盤資料が維持できなくなれば教育・研究に大きな影響を及ぼすことは必至です。それでは、この価格上昇の要因は何かということですが、いくつか考えられ、①学術資料の値上がり、②円安、③海外電子商品への消費税課税などがその大きな要因となっています。

まず、学術資料の値上がりについて説明します。全国の国公私立大学図書館は国立情報学研究所とともに JUSTICE という大学図書館コンソーシアム連合を組織し、電子ジャーナル等について出版社との価格交渉を行っています。この交渉により毎年の価格上昇が約半分程度に抑えられています。

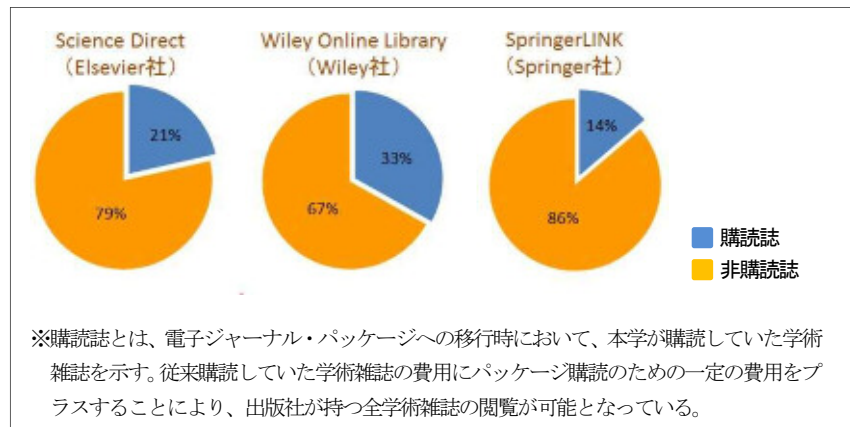
それでも価格は毎年上昇し続けていたのですが、平成 25 年度までは円高のおかげでこの上昇はあまり問題になりませんでした。ところが、25 年度から 26 年度にかけての急激な円安傾向により、外国で出版されている学術資料は価格上昇しました。続いて生じた問題は電子ジャーナル等を含む海外電子商品への消費税課税であり、この課税が実施されれば価格はさらに上昇する可能性が出てきました。これに対し、全国の大学図書館協会は、26 年 7 月に“学術情報資料に

対する消費税軽減税率の適用を要望します”という声明を発表しました。しかしながら、27 年 3 月にこの法案は決定され、10 月から消費税課税が実施されることになりました。

このように海外の学術基盤資料の価格は上昇し続けており、各大学とも対応に苦慮しているところです。大学によっては、電子ジャーナル・パッケージから個別の電子ジャーナルへの契約形態を変更することで価格上昇に対応しようとする動きもあります。しかしながら、本学の電子ジャーナルの利用状況を調査しますと、パッケージ内の一定分野のジャーナルに利用が集中しているのではなく、全体的な利用がみられることから、可能なら予算内で電子ジャーナル・パッケージを維持することが教育・研究に大きな影響を及ぼさないものと判断しています（図 1）。

以上のように、今回は大学が直面している学術基盤資料を取り巻く現状と課題についてお話をさせていただきました。今後の価格上昇などを含め資料の整備に影響を及ぼす不確定な要因もありますが、図書館としてはこれからも大学の教育・研究の基盤を支えている電子ジャーナル・パッケージ等の全学共通学術基盤資料をできる限り維持する方向で進めることができれどと考えております。

【図 1】 電子ジャーナル・パッケージの総ダウンロード件数における購読誌および非購読誌の割合



平成 26 年度図書館トピックス

○平成 26 年度学生協働活動記録

・学生協働とは

学生協働は、キャリア形成支援と図書館サービス充実を目的に、平成 18 年度に発足した。現在、総合図書館、医学部図書館、工学部図書館の 3 館で、カウンター業務のほか、資料の修理や企画展示など、様々な活動を行っている。

・参加人数

58 名(総合図書館:38 名、医学部図書館:11 名、工学部図書館:9 名)

・総合図書館学生協働

総合図書館では、カウンター業務や作業(蔵書点検、配架整理等)、ワーキンググループ活動(企画展示 WG、就職活動 WG、新しい図書館 WG 等)を中心に行った。また、今年度の学生協働交流シンポジウムの基調講演において目標設定の重要性の指摘があったことから、「後期入館者数 17 万人突破」「ブログ総閲覧数 50 万突破」という新たな目標を設定した。目標達成のための活動として、テスト週間に利用者呼び込みのためのティッシュ配り及び快適な学習スペースの提供を目的とした冷水器の設置、男性でも使いやすい無地のひざ掛けの貸出を行った。



企画展示「山口県の魅力」



絵本コーナーのクリスマス展示

・医学部図書館学生協働

今年度の活動として、カウンター業務、選書、図書紹介コーナーの設置、グリーンカーテンの設置、館内サインの作成、オープンキャンパス等での館内案内を行った。学生協働交流シンポ

ジウムへの参加や、近隣の高校生との読書会開催など、学外者とも積極的に交流した。

・工学部図書館学生協働

従来の蔵書点検等の作業補助に加え、カウンター業務、就活コーナー用図書の選書及び季節に応じた館内の飾り付けなどを行った。また、学生協働ブログでの活動報告も開始し、昨年度以前に比べ活動内容が充実した。



カウンター業務



節分の飾りつけ

・学生協働交流シンポジウムを開催

平成 26 年 8 月、山口大学を会場として、島根大学、島根県立大学及び梅光学院大学との共催による第 4 回学生協働交流シンポジウム「0(ゼロ)から考える学生協働一次の 1 歩を踏み出そう」を開催した。中四国地区の学生協働を中心に 140 名以上の参加があり、シンポジウムの期間を通して他大学との交流を深めた。

平成 26 年 8 月 21 日(木)～22 日(金)

会場：山口大学



ポスターセッションの様子

(学生協働ワーキンググループ)

○文化交流スペースの整備

文化交流スペースは、大学が重点を置く「国際化」を視野に入れ、改修を機に総合図書館1階に新設された。今年度、同スペースの充実及び効果的な運用を図るための整備を行った。

整備にあたり、大学の国際化に関連する部署及び留学生等と情報交換のための学習会(平成26年12月、計4回)を開催し、資料収集や企画展示、イベント開催のためのヒントを得た。

学習会での意見を踏まえ、英語学習の糸口となることを目的に多読資料を中心とした資料の補充を行い、また、日本人学生及び留学生の交流の場となるよう資料及び書架の配置換えや英語表記つきの見出し作成などを行った。



(利用者サービス係)

○国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始

平成26年8月1日より、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを開始した。国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料について、総合図書館でデジタル画像の閲覧と複写が可能になった。

(利用者サービス係)

○山口県大学ML連携特別展の開催

平成26年11月3日(月)から平成27年1月30日(金)まで平成26年度山口県大学ML連携特別展を開催した。

総合図書館では、『新発見資料から歴史を知る

～木戸孝允が憂えた日本の行く末～』をテーマとし、所蔵資料『松菊公書翰』の中から、「明治六年以後の政治に関する木戸孝允覚書」を中心に、当時の状況や歴史的な背景を探り、実物の展示と解説を行った。解説の作成にあたっては、人文学部の教員にもご協力いただいた。

ワークショップ(巻物作り) 11月3日(月)

参加者数 約30人

ミュージアムトーク 11月8日(土)

参加者数 約10人



ワークショップの様子

医学部図書館では、『新発見資料から歴史を知る～山口の医学の原点を探る～』をテーマとし、江戸時代の山口で行われていた医学教育について、四熊文庫と浅山文庫の資料などとともに紹介した。

ミュージアムトーク 11月8日(土)

参加者数 5人



ミュージアムトークの様子

(学術情報課)

○リポジトリの動向

山口大学学術機関リポジトリ (YUNOCA) について、年間論文登録数は例年と同様 1,000 件強であったが、年間閲覧数は昨年度比約 1.4 倍、平成 24 年度比では約 2.3 倍とここ 3 年間で大幅な増加となった。

山口県大学共同リポジトリ (維新) は、平成 26 年 7 月に山口東京理科大学が参加し、参加機関数は 13 機関となった。

遺跡資料リポジトリは、事業の主体が島根大学から奈良文化財研究所へ移行するため、システムを奈良文化財研究所の全国遺跡総覧に統合することとなった。これを受けて、山口県遺跡資料リポジトリについては、自治体との協議の結果、引き続き本学でシステムを管理・運用しながら、全国遺跡総覧とデータ連携をすることとなった。

(企画連携係)

○目録システム地域講習会の開催

平成 26 年 9 月 3 日 (水) から 5 日 (金) の 3 日間、国立大学図書館協会中国四国地区協会の事業 (共催：国立情報学研究所) として、目録システム地域講習会 (雑誌コース) を総合図書館りぷプラザにて開催した。

島根大学、広島大学、高知大学及び山口大学の図書館職員が講師となり、「目録情報の基準」、「コーティングマニュアル」等を参照しながら、書誌及び所蔵を入力する方法について講義が行われた。中国四国地区の国立大学を中心とした 24 機関 28 名が受講し、熱心に課題に取り組むなど熱気がこもった講習会となった。

(情報管理係)

○貴重資料の追加指定

第 3 回図書館専門委員会にて下記資料が貴重資料として追加された。

「The Tatler」(4v., printed by Bye and Law, London, 1797) 総合図書館所蔵

この資料は、1700 年代初頭にイギリスで発行された同名の雑誌を製本し再発行したものである。雑誌「The Tatler」は、Richard Steele により 1709 年 4 月に創刊され、1711 年 1 月までの約 2 年間、週 3 回のペースで計 271 号発行された。話題はゴシップから政治批評まで幅広く、当時の社会風俗を知るうえで貴重な内容となっている。また、イギリスにおける雑誌刊行の歴史の初期に位置付けられることから、出版史研究の側面からも重要である。

(情報管理係)

○第 50 回日本医学図書館協会中国・四国地区会総会の開催

平成 26 年 11 月 13 (木) 及び 14 日 (金) に医学部図書館に於いて標記総会を開催した。

プログラムのうち「継続教育」では、当館の小林誠副館長より「ユーザー (学生) の意見を取り入れた医学図書館改革」と題して、山口大学医学部図書館の改修における学生協働の取り組み等について紹介があった。「議題協議」では医療従事者向けのリーフレット「医学・医療情報を探すには」の作成、ILL、地域交流、病院図書室のリポジトリなど、今後の図書館間サービスの在り方について意見交換を行った。短い時間ではあったが、他の医学図書館 (室) の職員と交流できる貴重な機会であった。



(医学情報係)

平成 26 年度図書館オリエンテーション・ガイダンス

○図書館オリエンテーション

総合図書館において、新入生を対象に4日間（平成26年4月2、4、7～8日）にわたり、図書館オリエンテーションを実施した。新入生にとって即時必要となる入館、貸出などの基本的な利用方法及び大学生活における図書館の活用方法を伝えることを目的に、スライドでの説明と館内ツアーを行った。

実施後のアンケートには、「図書館がきれいで設備が充実している」、「これまでの図書館とは違う」、「大学生活で活用したい」などのコメントが多数寄せられた。

参加者数 合計 1,865 人 (参加率 94.4%)



スライドによる説明（りぶプラザ）

医学部図書館では、2年生、編入生、大学院生及び職員（コメディカル）を対象に3日間（平成26年4月3～4、7日）、工学部図書館では、2年生、編入生、大学院生及び留学生を対象に6日間（平成26年4月2～4、7～10日）にわたり、図書館オリエンテーションを実施した。

参加者数 医学部図書館 合計 303 人

工学部図書館 合計 915 人

○図書館ガイダンス

・新入生対象図書館ガイダンス

総合図書館において、1年生必修科目（情報

リテラシー演習、基礎セミナー及び医学入門）を担当する教員の協力を得て、授業時間の一部を使い、基礎的な情報探索法などのガイダンスを実施した（一部、総合図書館外で実施）。

備えつけのパソコンがあるりぶプラザを会場とし、データベースの操作実習及び図書館内の資料を探す実習を行った。

実施回数 46 回

(平成 26 年 4 月 16 日～6 月 6 日)

受講者数 1,942 人 (参加率 98.3%)



資料をさがす実習（閲覧スペース）

・個別ガイダンス

各館において、進級生、社会人学生、留学生、ゼミ及び職員（コメディカル）を対象としたガイダンスを下記のとおり実施した。

担当館	受講者数	回数
総合図書館	81	9
医学部図書館	97	14
工学部図書館	114	14

(情報サービス係)

平成 26 年度図書館各種講習会

○SciFinder 講習会

平成 26 年 6 月 19 日 (木) から 20 日 (金) にわたり、(一社) 化学情報協会より講師を招き、化学情報データベース「SciFinder」の利用方法について講習会を開催した。データベースの概要や文献検索、物質検索、反応検索機能などについて検索実習を交えながらの説明があった。

また、教員からの依頼による講習会を 7 月 29 日 (火) に実施した。

○JCR/ESI 利用講習会

平成 26 年 6 月 25 日 (木) 及び 10 月 2 日 (木) に、Thomson Reuters から講師を招き、JCR/ESI の講習会を開催した。

○論文執筆に役立つ Scopus 講習会

平成 26 年 11 月 27 日 (木) から 28 日 (金) にわたり、ゼファー・ビヨンド (株) から講師を招き、Scopus 講習会を実施した。講習会では無料の文献管理ツール「Mendeley」の利用方法についても説明があった。

○企業研究のための「有価証券報告書」活用セミナー

平成 26 年 12 月 12 日 (金) に (株) プロネクサスから講師を招き講習会を実施した。有価証券報告書の中でも特に就職活動の際の企業研究に役立つ部分についてやデータベースの効果的な使用方法について説明があった。

(情報サービス係)

SciFinder 講習会

実施日	時間	会場		参加者数
6/19(木)	①10:20-11:50	吉田	メディア基盤センター 2 F 演習室	0
	②16:10-17:40			11
6/20(金)	①10:20-11:50	常盤	工学部図書館インフォメーションルーム	9
	②14:30-16:00			11
7/29(火) (授業内)	12:50-16:00	吉田	メディア基盤センター 2 F 演習室	43

JCR/ESI 利用講習会

実施日	時間	会場		参加者数
6/25(木)	①10:30-11:30	吉田	メディア基盤センター 2 F 演習室	12
	②17:00-18:00	常盤	工学部図書館インフォメーションルーム	14
10/2(木)	18:30-20:00	小串	医学部図書館情報ラウンジ	13

論文執筆に役立つ Scopus 講習会

実施日	時間	会場		参加者数
11/27(木)	①14:30-16:00	常盤	工学部図書館インフォメーションルーム	7
	②18:00-19:30	小串	医学部図書館情報ラウンジ	10
11/28(金)	10:30-12:00	吉田	総合図書館りぶプラザ	19

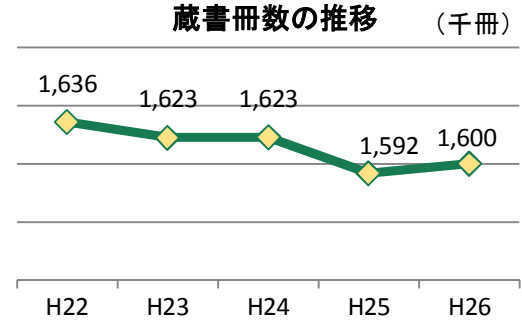
企業研究のための「有価証券報告書」活用セミナー (eol 講習会)

実施日	時間	会場		参加者数
12/12(金)	①10:20-11:50	吉田	総合図書館りぶプラザ	18
	②12:50-14:20			12

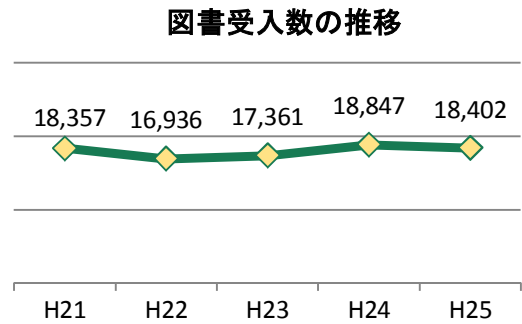
平成26年度図書館業務統計

— 基盤統計 —

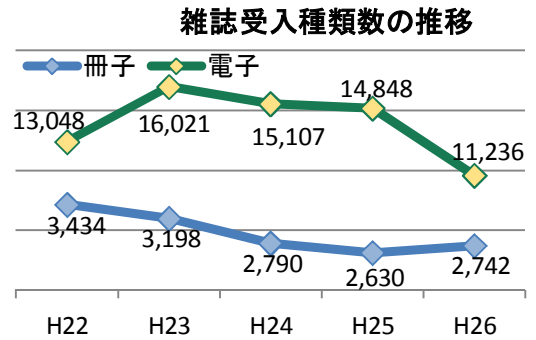
蔵書数		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
図書(冊)	和書	948,160	88,712	97,113	1,133,985
	洋書	337,905	72,204	56,200	466,309
	計	1,286,065	160,916	153,313	1,600,294
雑誌(冊子種類数)	和雑誌	17,287	2,142	1,411	20,840
	洋雑誌	6,428	2,212	1,635	10,275
	計	23,715	4,354	3,046	31,115



受入数		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
図書受入数(和洋区別)	和書	11,522	1,423	2,312	15,257
	洋書	2,552	146	447	3,145
	計	14,074	1,569	2,759	18,402
図書受入数(受入区別)	購入	10,360	1,179	2,415	13,954
	寄贈	3,123	118	175	3,416
	その他	591	272	169	1,032
	計	14,074	1,569	2,759	18,402
雑誌受入数(冊子和洋別)	和雑誌	1,670	228	196	2,094
	洋雑誌	377	93	66	536
	計	2,047	321	262	2,630
雑誌受入数(冊子受入別)	購入	1,025	208	174	1,407
	寄贈	1,011	112	87	1,210
	その他	11	1	1	13
	計	2,047	321	262	2,630

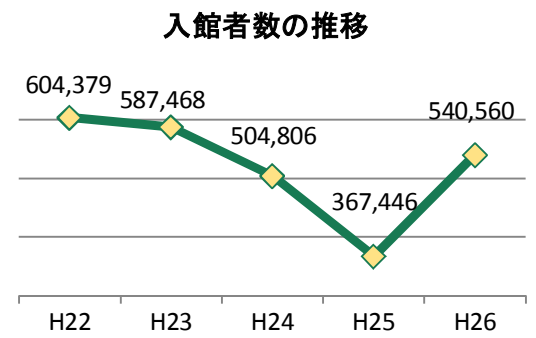


電子ジャーナル		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
提供数(有料契約分)	国内誌	5,332	0	0	5,332
	国外誌	5,783	45	74	5,902
	計	11,115	45	74	11,234



— 利用統計 —

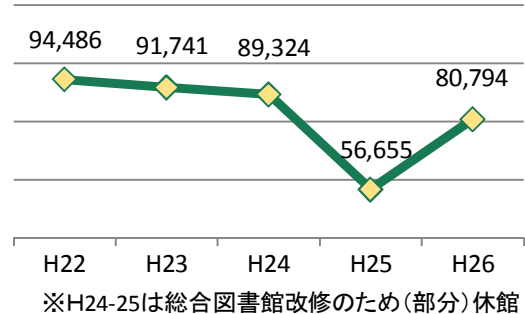
入館		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
開館日数	平日	239	241	237	—
	土曜	42	49	32	—
	日曜祝日	53	59	40	—
	計	334	349	309	—
入館者数	学生	313,354	107,053	77,284	497,691
	教職員	17,359	8,489	3,086	28,934
	学外者	7,841	2,630	3,464	13,935
	計	338,554	118,172	83,834	540,560



※H24-25は総合図書館改修のため(部分)休館

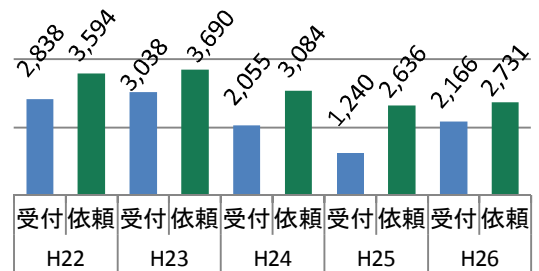
貸出		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
貸出冊数	平日	46,102	8,771	13,675	68,548
	土日祝	6,818	745	1,319	8,882
	無人	0	3,364	0	3,364
	計	52,920	12,880	14,994	80,794
貸出冊数(身分別)	学生	47,219	10,855	12,660	70,734
	教職員	3,784	1,551	1,653	6,988
	学外者	1,917	474	681	3,072
	計	52,920	12,880	14,994	80,794

貸出冊数の推移

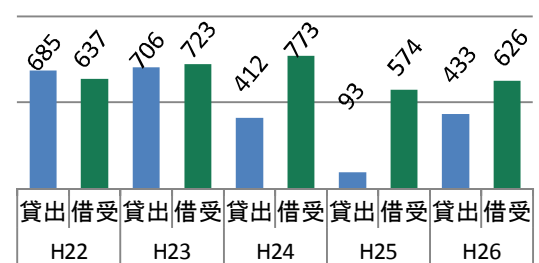


相互協力		総合図書館	医学部図書館	工学部図書館	計
文献複写(受付件数)	国内大図	964	874	149	1,987
	国内ほか	77	41	42	160
	国外	19	0	0	19
	計	1,060	915	191	2,166
文献複写(依頼件数)	国内大図	1,390	709	309	2,408
	国内ほか	243	12	52	307
	国外	14	2	0	16
	計	1,647	723	361	2,731
現物貸借(受付件数)	国内大図	296	16	21	333
	国内ほか	96	2	0	98
	国外	2	0	0	2
	計	394	18	21	433
現物貸借(依頼件数)	国内大図	401	15	39	455
	国内ほか	170	0	0	170
	国外	1	0	0	1
	計	572	15	39	626

文献複写件数の推移



現物貸借件数の推移

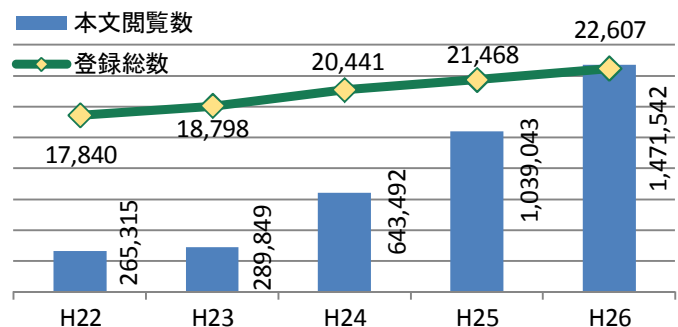


リポジトリ		H22	H23	H24	H25	H26	計
閲覧・登録数	閲覧 ※1	265,315	289,849	643,492	1,039,043	1,471,542	3,709,241
	登録 ※2	1,314	958	1,643	1,027	1,139	6,081

※1 プログラムによるアクセス数を含まない各年度毎の本文閲覧数

※2 登録数は、各年度毎のメタデータ登録数

リポジトリ閲覧数と登録総数



平成 26 年度 本学関係教員著作寄贈図書

(2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日) ※敬称略

寄贈者	書名等
瀬瀬厚 (山口大学理事・副学長)	反「安倍式積極的平和主義」論 : 歴史認識の再検証と私たちの戦争責任 / 瀬瀬厚著. -- 凱風社, 2014. 5.
瀬瀬厚 (山口大学理事・副学長)	Q&A で読む日本軍事入門 / 前田哲男, 飯島滋明編. -- 吉川弘文館, 2014. 7.
山本冴里 (留学生センター)	戦後の国家と日本語教育 / 山本冴里著. -- くろしお出版, 2014. 5.
山口大学知的財産本部	大学と研究機関のための知的財産教本 / 辻本一義[ほか]著. -- EME パブリッシング, 2004. 6.
池園宏 (人文学部)	牧師たちの物語 / ジョージ・エリオット著 ; 小野ゆき子, 池園宏, 石井昌子訳. -- 彩流社, 2014. 8. -- (ジョージ・エリオット全集 ; 1).
岡邊健 (人文学部)	犯罪・非行の社会学 : 常識をとらえなおす視座 / 岡邊健編. -- 有斐閣, 2014. 3. -- (有斐閣ブックス ; [697]).
岡邊健 (人文学部)	非行研 100 回のおゆみ / 東京大学非行研究会編. -- [東京大学非行研究会], 2014. 2. -- (東京大学非行研究会報告 / 東京大学非行研究会編 ; 第 1 号).
岡邊健 (人文学部)	現代日本の少年非行 : その発生態様と関連要因に関する実証的研究 / 岡邊健著. -- 現代人文社.
田中晋作 (人文学部)	北陸から見た日本史 / 読売新聞北陸支社編. -- 洋泉社, 2015. 3. -- (歴史新書).
平野芳信 (人文学部)	하루키, 하루키 : 하루키의 인생, 하루키의 문학 / 글 히라노 요시노부 ; 옮김 조주희. -- 지학사, 2012. 10.
平野芳信 (人文学部)	從蝸牛食堂到挪威的森林 : 解讀日本近現代文學中的飲食象徵 / 平野芳信著 ; 陳系美譯 ; 平裝. -- 遠足文化, 2014. 7.
平野芳信 (人文学部)	무라카미 하루키를 논하다 / 한국일본근대문학회 편. -- 제이앤씨, 2014. 11. -- (일본근현대문학 총서 ; 2).
藤川哲 (人文学部)	キュレーションの現在 : アートが「世界」を問い直す / フィルムアート社編. -- フィルムアート社, 2015. 2. -- (Next creator book).
藤川哲 (人文学部)	「かたち」再考 : 開かれた語りのために / 東京文化財研究所編. -- 平凡社, 2014. 12. -- (文化財の保存および修復に関する国際研究集会 ; 第 37 回).
馬彪 (人文学部)	史記 / 饒宗頤名譽主編 ; 馬彪導讀及譯注. -- 中信出版, 2013. 9. -- (中信国学大典 / 饒宗頤名譽主編).
馬彪 (人文学部)	始皇帝の遺産 : 秦汉帝国 / (日) 鶴岡和幸著 ; 馬彪譯. -- 广西师范大学出版社, 2014. 1. -- (中国的历史 ; 03)(理想国 = imaginist).
馬彪 (人文学部)	地下からの贈り物 : 新出土資料が語るいにしへの中国 / 中国出土資料学会編. -- 東方書店, 2014. 6. -- (東方選書 ; 46).
馬彪 (人文学部)	後漢書 / 饒宗頤名譽主編 ; 馬彪導讀及譯注. -- 中華書局(香港)(出版). -- (新視野中華經典文庫).
森野正弘 (人文学部)	源氏物語の音楽と時間 / 森野正弘著. -- 新典社, 2014. 9. -- (新典社研究叢書 ; 262).
荒木一視 (教育学部)	アジアの青果物卸売市場 : 韓国・中国・インドにみる広域流通の出現 / 荒木一視著. -- 農林統計協会, 2008. 2.
北沢千里 (教育学部)	理科好きな子に育つふしぎのお話 365 : 見てみよう、やってみよう、さわってみよう体験型読み聞かせブック / 斉藤勝司[ほか]執筆. -- 誠文堂新光社, 2015. 2.
友定啓子 (教育学部)	保育の現在 : 学びの友と語る : 津守眞講演集 / 津守眞著 ; 入江礼子, 友定啓子編. -- 萌文書林, 2013. 5.
福田隆眞 (教育学部)	教育におけるグローバル化と伝統文化 / 山口大学大学院東アジア研究科編著 ; 福田隆眞, 石井由理編集責任. -- 建帛社, 2014. 3. -- (山口大学大学院東アジア研究科東アジア研究叢書 ; 2).

寄贈者	書名等
田邊敏明 (教育学部)	明日から教壇に立つ人のための教育心理・教育相談 / 田邊敏明 [ほか] 著. -- 北大路書房, 2014. 5.
澤喜司郎 (経済学部)	観光旅行と楽しい乗り物 / 澤喜司郎著. -- 成山堂書店, 2010. 12. -- (交通論おもしろゼミナール ; 5).
齋藤英智 (経済学部)	壬生の花田植 : 歴史・民俗・未来 : ユネスコ無形文化遺産 / 広島県北広島町編. -- 吉川弘文館, 2014. 3.
川村喜一郎 (理学部)	Submarine mass movements and their consequences : 5th International symposium / Yasuhiro Yamada ... [et al.], editors. -- Springer, c2012. -- (Advances in natural and technological hazards research ; v. 31).
丹野研一 (農学部)	西アジア文明学への招待 / 筑波大学西アジア文明研究センター編. -- 悠書館, 2014. 12.
尾家重治 (医学部)	病棟で使える消毒・滅菌ブック / 尾家重治編著. -- 照林社, 2014. 2.
加納隆 (名誉教授)	南極読本 : 隊員が語る寒冷自然と観測の日々 / 南極OB会編集委員会編. -- 成山堂書店, 2013. 12.
長谷川光圀 (名誉教授)	組織進化論 : 自己組織化と事例研究 / 長谷川光圀著. -- 創成社, 2009. 10.
影山芳郎 (元工学部教授)	志愛信 / 影山芳郎[著]. -- [影山芳郎], [1987].

平成 26 年度 会議・研修・人事等

◆会議 (学外)

26. 4. 17-18 第 62 回中国四国地区大学図書館協議会総会 / 第 41 回国立大学図書館協会中国四国地区協会総会 (於 翠山荘)
 26. 6. 19-20 第 61 回国立大学図書館協会総会 / 第 10 回国立大学図書館協会マネジメント・セミナー (於 国立オリンピック記念青少年総合センター)
 26. 10. 9-10 第 55 回中国四国地区大学図書館研究集会 (於 香川大学)
 26. 11. 13-14 第 50 回日本医学図書館協会中国・四国地区会総会 (於 山口大学)
 26. 11. 28 平成 26 年度中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議 (於 徳島大学)
 26. 12. 19 平成 26 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議 (於 鳥取大学)
 27. 2. 6 平成 26 年度国立大学図書館協会中国四国地区協会事業委員会総会 (於 岡山大学)

◆会議 (学内)

- | | |
|--|--|
| 26. 5. 16 平成 26 年度第 1 回学術基盤資料検討専門部会 | 26. 8. 20 平成 26 年度第 4 回医学部図書館部会(メール審議) |
| 26. 5. 28 平成 26 年度第 2 回図書館専門委員会 | 26. 9. 2 平成 26 年度第 3 回工学部図書館部会 |
| 26. 5. 28 平成 26 年度第 1 回総合図書館部会 | 26. 9. 25 平成 26 年度第 5 回医学部図書館部会(メール審議) |
| 26. 6. 2 平成 26 年度第 1 回医学部図書館部会 | 26. 12. 12 平成 26 年度第 4 回工学部図書館部会 |
| 26. 6. 18 平成 26 年度第 1 回工学部図書館部会 | 27. 1. 20 平成 26 年度第 6 回医学部図書館部会(メール審議) |
| 26. 7. 3 平成 26 年度第 2 回工学部図書館部会 | 27. 3. 5 平成 26 年度第 7 回医学部図書館部会(メール審議) |
| 26. 7. 4 平成 26 年度第 2 回医学部図書館部会(メール審議) | 27. 3. 11 平成 26 年度第 3 回学術基盤資料検討専門部会 |
| 26. 7. 24 平成 26 年度第 3 回医学部図書館部会(メール審議) | 27. 3. 11 平成 26 年度第 2 回総合図書館部会 |
| 26. 8. 5 平成 26 年度第 2 回学術基盤資料検討専門部会 | 27. 3. 25 平成 26 年度第 3 回図書館専門委員会 |
| 26. 8. 5 平成 26 年度第 2 回図書館専門委員会 | 27. 3. 30 平成 26 年度第 5 回工学部図書館部会 |

◆研修

26. 4-9 平成 26 年度放送大学 参加者 : 岡崎聡志
 26. 5. 2, 7-9 平成 26 年度新規採用職員研修 (於 山口徳地青少年自然の家) 参加者 : 村上ゆかり, 的場百花
 26. 5. 19-20 第 7 回情報セキュリティマネジメントシステム研修会 (於 山口大学) 参加者 : 三芳一恒
 26. 6. 19-11. 15 平成 26 年度財務会計事務研修 (簿記) (於 山口大学) 参加者 : 川上誠
 26. 6. 10-11 第 10 回レファレンス協同データベース事業担当者研修会 (於 国立国会図書館関西館) 参加者 : 岡崎聡志

- 26.7.2-4 第44回中国地区中堅係員研修（於 広島合同庁舎）参加者：川上誠
 26.7-11 平成26年度山口大学事務職員業務英語能力向上研修（於 山口大学）参加者：岡崎聡志，的場百花，村上ゆかり
 26.9.3-5 平成26年度目録システム講習会（雑誌）（於 山口大学）参加者：岡崎聡志，村上ゆかり，森實彩乃，原田智子
 26.9.7-13 平成26年度山口大学職員海外派遣SD研修（於 ガジヤマダ大学）参加者：森實彩乃
 26.9.17-19 平成26年度目録システム講習会（図書コース）（於 愛媛大学）参加者：村上ゆかり
 26.10.1 平成26年度新規採用職員フォローアップ研修（於 山口大学）参加者：村上ゆかり，的場百花
 26.10.28-31 平成26年度中国四国地区国立大学法人等財務会計事務研修（中・上級編）（於 翠山荘）参加者：島津有希
 26.10.29-31 平成26年度山口大学係長研修（於 山口大学）参加者：杉原繁子
 27.1.27-30 平成26年度日本古典籍講習会（於 国文学研究資料館）参加者：日高友江

◆山口県図書館協会等

- 26.5.22 平成26年度第1回山口県大学図書館協議会幹事会（於 梅光学院大学）
 26.6.26 第18回山口県大学図書館協議会総会（於 山口大学）
 26.7.25 平成26年度山口県図書館協会理事会（於 山口県立山口図書館）
 26.8.29 平成26年度山口県図書館協会総会（於 山口県立山口図書館）
 27.1.22 平成26年度第2回山口県大学図書館協議会幹事会（於 山口大学）

◆人事

- 26.4.1
 採用 情報環境部情報推進課長 中村 由己 (文部科学省生涯学習政策局男女共同参画学習課)
 採用 情報環境部学術情報課 的場 百花
 採用 情報環境部学術情報課 村上 ゆかり
 採用 情報環境部情報推進課 藤野 友理恵
 昇任 人文学部事務長 池田 浩弥子 (情報環境部学術情報課副課長)
 昇任 情報環境部学術情報課副課長 金重 幾久美 (情報環境部学術情報課利用者サービス係長)
 昇任 情報環境部学術情報課医学情報係長 杉原 繁子 (情報環境部学術情報課主任)
 昇任 情報環境部学術情報課主任 前坂 祥子 (情報環境部学術情報課)
 出向 大分大学 大塚 由希子 (情報環境部学術情報課)
- 26.7.1
 配置換 情報環境部学術情報課資料契約係長 佐藤 広江 (財務部契約課旅費・謝金係長)
 配置換 財務部契約課調達第二係長 中谷 博明 (情報環境部学術情報課資料契約係長)
 配置換 情報環境部学術情報課主任 島津 有希 (人文学部主任)
 配置換 情報環境部学術情報課主任 中村 和博 (工学部会計課主任)
 配置換 経済学部主任 久光 美恵 (情報環境部学術情報課主任)
 配置換 医学部学務課 三芳 一恒 (情報環境部学術情報課)
- 26.10.1
 昇任 情報環境部学術情報課主任 日高 友江 (情報環境部学術情報課)
- 26.12.31
 辞職 香川大学 石橋 英二 (情報環境部長)
- 27.3.31
 辞職 大分大学 瓜生 照久 (情報環境部学術情報課長)

編集後記

平成26年4月、総合図書館では改修後初めての新生を迎えました。新設されたアカデミック・フォレストでは、学生が活発に利用する姿が多く見られます。個人学習・グループ学習双方に対応した新しい図書館をぜひご利用ください。 館報編集小委員会

山口大学図書館報 「Library News」 No. 87

編集・発行 山口大学図書館

2015年10月5日発行 〒753-8511 山口市吉田1677-1

http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/lib-nws/ TEL. (083)933-5183 FAX. (083)933-5186